

# 教職課程カリキュラムツリー 【スポーツ学部】

CP (カリキュラムポリシー)	科目区分・教科	1年次		2年次		3年次		4年次		DP (ディプロマポリシー)
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門的知識と実践力を身につける科目	教育の基礎的理解に関する科目 道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 教育実践に関する科目	教職論		教育原論		教職の意義、教育の基礎的理解に関する科目 理論だけでなく実践的活動を通じてスキルを培う		実践的指導力を身につける		教育実践を通して教職の基盤を確立する。
	科目区分 教科及び教科の指導法に関する科目 中一種・高一種 (保健体育)	解剖生理学	スポーツ社会学	スポーツ医学	スポーツ栄養学	生徒・進路指導論	教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)	教育実習Ⅰ	教職実践演習(中・高)	DP-①【知識・技能】 学士(スポーツ学)として相応しい幅広い教養を身につけ、総合的なスポーツ指導・健康づくりの学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。
		スポーツ運動学(運動方法を学ぶ。)	スポーツ生理学	救急法実習		特別活動・総合的な学習の時間指導	道徳教育指導法	教育実習Ⅱ	スポーツの歴史と文化	
		衛生学及び公衆衛生学	スポーツバイオメカニクス	保健体育科教育法Ⅰ		保健体育科教育法Ⅱ	事前事後指導			
スポーツ学概論	スポーツ心理学	保健体育科教育法Ⅲ		保健体育科教育法Ⅳ		学校体育のマネジメント	学校保健Ⅰ(学校安全を含む。)	学校保健Ⅱ(小児保健・精神保健を含む。)	学校保健Ⅲ	学校保健Ⅳ
体操(体づくり運動を含む。)、 陸上競技A、バスケボール	体操(体づくり運動を含む。)、 陸上競技A、バスケボール	器械運動、陸上競技B、水泳、 バレーボール、剣道、柔道、 サッカー	器械運動、陸上競技B、水泳、 バレーボール、剣道、柔道、 サッカー	器械運動、陸上競技B、水泳、 バレーボール、剣道、柔道、 バドミントン、ダンス	器械運動、陸上競技B、水泳、 バレーボール、剣道、柔道、 バドミントン、ダンス	ハンドボール、ラグビー	ソフトボール・野球、テニス	ソフトボール・野球、テニス	ソフトボール・野球、テニス	ソフトボール・野球、テニス
キャンプ、スノースポーツ (1年次から4年次前期まで年間を通じて適切な時期に行う)										

免許法施行規則第66条の6の科目	現代国家と法(日本国憲法)	情報処理演習Ⅰ	情報処理演習Ⅱ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	体カトレーニング論
------------------	---------------	---------	---------	--------------	--------------	-----------

実践力を身につける	スキルアップ K-OIPプログラム	文章理解 社会科学【基礎】 数的処理Ⅰ	人文・自然科学【基礎】 数的処理Ⅱ	教養基礎答練Ⅰ ※教職教養(教育原理・教育心理) ※保健体育科Ⅰ 社会科学【応用Ⅰ】 数的処理Ⅲ	教養基礎答練Ⅱ ※教職教養(教育原理・教育心理) 教職基礎演習 ※保健体育科Ⅰ 社会科学【応用Ⅱ】	学校体験活動 教職総合講義	学校体験活動 教職総合講義	総合対策講座
		※どちらかの期で開講						

教職課程の委員会、	オリエンテーション ガイダンス等での指導	教職課程の履修について 教員になるために ベースを作る。 教育実習履修の内規 説明 (体育・スポーツ科学の幅広い領域の理論、スポーツ実技などを学習するとともに、保健体育科教員に求められる社会的使命及び資質・能力を理解することを目指す。)	履修カルテの説明 関係科目、自己実現 項目の説明 振り返りにより課題 を発見し、次につな げる。 履修指導 (体育・スポーツ指導に関する領域の知識を身に付けるとともに、教職課程を履修するための自覚と使命感を身に付けることを目指す。)	教職への心構え 自己実現項目の振り返りの開始 履修指導	今後のスケジュール確認 後期で教職への気持を確認する 履修指導	教職課程継続の意思確認 教育実習を前に講義から実践へ 内諾の説明 介護等体験の心構えと注意事項 社会福祉施設での介護等体験 チームワークの構築 コミュニケーションの必要性 自らの行動への責任 履修指導	教育実習への心構えと事前指導の 受講案内 履修指導 社会福祉施設での介護等体験 特別支援学校での介護等体験	教育実習の直前指導 ゼミ担当者との面談 教育実習のアンケート 実施 最終履修指導	卒業までの過ごし方 履修カルテの仕上げ 教育実習のアンケート 実施 免許状申請手続きの 説明
		教育実習校訪問による指導							

DP-②【思考力・判断力・表現力】  
実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、礼節を重んじ高い力量をもつスポーツ指導者の資質を身につけ、地域社会の中で率先して行動できる力を身につけている。

DP-③【主体性・協働性】  
専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者との協働を通じ、積極的にボランティア活動等を実践し、社会貢献できる力を身につけている。

① 福原学園創立以来の教員養成の理念(人間性の発達と完成を目標とする使命感に満ち、そのための献身の精神に溢れた教師)をその原点として体現しつつも、現代の要請に応え、新たな時代を切り開く資質能力を備えた教師。  
② a教職に対する強い情熱、b教育の専門家としての確かな力量、c総合的な人間力、を兼ね備えた教師。  
③ スポーツ教育学、健康科学、トレーニング科学、コーチング学において学問的専門性の核を有するとともに、広く体育・スポーツ科学諸領域を総合する知識・能力を持ち、児童生徒に豊かなコミュニケーション能力や社会的問題解決能力をたくわくことのできる教師。

中一種、高一種  
(保健体育)